

ともだちのうた

作詞 河南中学校生徒会

作詞 吉田健司

一、離れていても　離れていても
君のこととを　想つているから
どんな時も　どんな時も
君の明日を　想つているから
君の喜びや　はりさけそうな悲しみを
近くにいて感じてみたい　一つの空の下
だから君に歌うよ　声の限りに歌うよ
君だからだに力が　沸きたつようには
いつものから　ずつとつながっているよ
君に届けたい　このともだちのうた

二、悲しいことも　苦しいことも
全部分け合えば　小さなかけらに
そのかけらを　歌に届けて
そちからにして　君に届けたい
君が笑つたら　その声が風に乗つて
誰かの心に届くよ　みんなつながつて
笑顔のから君に歌うよ　声の限りに歌うよ
君の心の明かりが　灯るようになるよ
一つの言葉で　ずっとつながつてているよ
花で包もう　このともだちのうた

ララララ・・・・
いつも一つの言葉で　ずっとつながつてているよ
永遠に歌い続けよう　このともだちのうた
のともだちのうた